

# こぶし

## 経営方針

権利擁護と意思決定支援を基本に、利用者の個々のニーズに沿ったサービスの質の向上に努めるとともに、安心安全な生活の提供に努めます。

地域移行に向け、就労や生活について自己決定する力を育成し、希望する生活の実現を目指します。

地域生活を支援するため、関係機関と連携し、幅広いニーズに応じたサービスの提供とセーフティーネットとしての役割を果たします。

## ■ こぶし

[障害者支援施設（施設入所支援、生活介護、短期入所）、日中一時支援事業]

## 取り巻く環境

高齢化や身体機能の低下により介護度が上がってきている一方で、10代、20代の精神障がいや発達障がい、愛着障がいを有する方も入所しており、幅広い年齢層に対し個別化・多様化する支援が求められています。適切なサービスを提供するため、関係機関や医療との連携を図り、障がい特性の理解、支援スキルの向上を図る必要があります。

地域生活を目指す方々のニーズに応じた生活の場への移行に向けた取組が求められています。

在宅障がい者の定期的な短期入所の利用や緊急時の受け入れなどを行い、地域生活の継続を支えています。

特別支援学校や精神科病棟、在宅障がいの方のニーズもあることから、中山の園グループ全体で入所調整を進め、体験や短期入所等、積極的に受け入れる必要があります。

## 令和6年度【事業の重点項目】

### 1 人権尊重と虐待防止の意識の醸成

人権侵害や虐待の防止について、人権侵害自己チェック、虐待防止自己チェックを実施するとともに、毎月の虐待防止委員会では支援の適正化や未然防止、再発防止策について検討を行い、人権擁護、虐待防止の意識の徹底を図ります。

成年後見制度について、ご本人やご家族に情報提供し、利用の啓発を図るとともに、援護の実施者や関係機関と連携し取り組みを進めます。

### 2 安心・安全なサービスの提供

高齢化や身体機能の低下等により介護度の高い利用者については、丁寧なアセスメントを実施し、安心安全な生活を送れるよう、必要に応じてグループ内での入所調整を検討します。

個々の障がい特性の理解を深めるため、研修や検討会を通して専門知識や技術の向上を図り、統一した支援に努めます。

リスクマネジメントでは、特にインシデントへの働きかけを行い、要因分析し、再発防止に取り組めます。

感染症については、職員の意識の徹底に努め、予防対策を強化し、必要に応じてマニュアルの見直しを図ります。

### **3 地域福祉の推進**

在宅障がい者の地域生活が継続できるよう、相談支援事業所や関係機関と連携し、短期入所や日中一時支援等の受け入れを行い、セーフティーネット機能の役割を果たします。

創作活動で制作した作品の出展や地域のイベントへの参加を行い、社会参加と障がい者理解の促進を図ります。

また、利用者の希望する生活に向け、地域資源を学ぶ機会を設け、地域生活への移行を目指します。

### **4 人材育成と働きがいのある職場づくり**

障がいの多様化に対応するため、研修や検討会を通して共通理解を深め、積極的に意見交換できる環境づくりを目指し、支援技術の向上に努めます。限られた職員数で業務が遂行できるよう、業務内容の見直しや効率化を図り、時間外労働の削減、有給休暇の取得促進等、ワークライフバランスに配慮した職場環境づくりに取り組みます。

### **5 利用率の維持・向上と経営の安定**

相談支援事業所や関係機関等と連携を図り、地域のニーズに応じた短期入所、体験入所を進め、新規利用者の受入れを行い、利用率の向上を目指します。

また、健康管理や事故防止に努め、利用率を維持し、経営の安定を図ります。